



自分たちの表現を工夫しよう

楽譜がくふに書かれている音符や記号おんぶは、作曲者のメッセージであり、曲想を感じ取って表現するための手がかりの一つとなります。「夢の世界を」(p.30)の音楽の特徴とくちょうを捉えて、表現を工夫くふうしましょう。

夢の世界を

一、微笑ほほえみ交かわして 語り合あい
 落ち葉おちばを踏ふんで 歩あいたね
 並木なみきの銀杏いちょうを あざやかに
 いつかも夕日ゆづりが 映うつし出したね
 さあ てかけよう
 思い出おもい出でる あふれる 道みちを駆け抜ぬけ
 さあ 語り合あおう
 素晴らしいぼくらの 夢の世界ゆめのよを

二、小鳥こどりのさえすり 聞きながら
 はるかな夕日ゆづりを 眺ながめたね
 小川こがわの流れも すみわたり
 いつかもぼくらを 映うつし出したね
 さあ てかけよう
 思い出おもい出でる 道みちを駆け抜ぬけ
 さあ 語り合あおう
 素晴らしいぼくらの 夢の世界ゆめのよを

1 この曲はAとBの2つの部分で構成されています。
 楽譜(p.30)と上の歌詞を見比べて全体の流れを確認しましょう。

確かめたことなどを書きましょう。

2 AとBの各部分について、演奏きを聴いたり歌ったりしながら、音楽や歌詞から気付いたことや、感じ取ったことを右ページの表に書きましょう。その際、下の「注目するポイント」を参考にしましょう。

注目するポイント

リズム

旋律せんりつ

テクスチャ

強弱

構成

3 2で気付いたことや感じ取ったことを手がかりに、3つのパートを歌い合わせながら、AとBの各部分をどのように歌いたいと話合あって、下の表に書きましょう。

	音楽や歌詞から気付いたことや感じ取ったこと	どのように歌いたいか
Aの部分	例 ・全員で同じ旋律を歌っている。	例 ・声をそろえて明るい声で歌いたい。
Bの部分	例 ・「さあ てかけよう」の部分が、私たちに呼びかけている感じがする。	例 ・fを生かして、のびのびと歌いたい。

4 3で話し合ったことをもとに、自分たちの表現を工夫して歌いましょう。

工夫したことや歌ってみた感想などを書きましょう。